

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人ゆいまー 放課後等デイサービス ゆいまー		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日 ～ 2025年2月9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 19件
○従業者評価実施期間	2025年1月15日 ～ 2025年2月9日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の意思を尊重し、主体性を持って行動できるように療育支援を行っている 利用者のニーズに合わせて柔軟な対応が出来る	活動の中で利用者の声を常に職員ひとりひとりがうかがうようにしている。 常に全体を把握、管理する職員を配置し、必要に応じて利用者に対して活動職員が対応できる体制を維持している	利用者に対して職員側も様々な体験を提供し、利用者の興味関心・主体性の幅を広げていく
2	活動中に提供しているプログラムの多様性を重視している ゆいまーだからこそ出来る価値あるプログラムの提供	プログラム毎に目的意図を重視し、その上でプログラム内容を決定している。また、プログラムの内容が固定化されない為に多様な専門的職員によってプログラムを実施している。	定期的にプログラムの見直し、改善を実施するとともに、逐次、新規のプログラムの立案、模索を行っていく。
3	Hug(連絡ツール)を用いての保護者様への報告、連絡	連絡事項やその日、1日の利用者の様子を写真等も含めて詳細に確認することが出来る。	今後も、その日の利用児童の状況をお伝えするとともに、必要に応じて保護者様との連絡を密にとっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内活動における騒音	施設内の児童の声や環境音による苦情が施設に寄せられた。	騒音対策として防音シートや床に敷く防音マット等を設置する。
2	利用者のキャンセル率が高い	利用者にとって必要不可欠な施設と認識されていない	利用者様が安定して継続利用を考えていただけるように療育内容の質の改善と向上を目指し、月に一度、プログラムの見直し改善を行う目的で定例会を実施する。
3	地域との交流の少なさ	施設内での時間が長い関係上、地域交流の機会が少なくなっている。	課外活動、イベント等のタイミングでなるべく地域交流に参画する機会を作り、施設外の交流が出来る機会を積極的に増やしていく。